

## 鳥関連過敏性肺炎における特異的IgG、IgA抗体測定の有用性に関する研究

当院では「鳥関連過敏性肺炎における特異的IgG、IgA抗体測定の有用性に関する研究」を実施しております。この研究は鳥関連過敏性肺炎の診断に用いられる「特異抗体検査」の有用性を証明するための研究です。過去に当院で特異抗体検査を受けられた患者さんを対象とし、研究目的・内容は以下のとおりです。直接のご同意は頂かずに、この掲示によるお知らせをもって通院中の方からご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。万が一この研究へのご参加をご希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、研究に関するご質問等は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究題名：「鳥関連過敏性肺炎における特異的IgG、IgA抗体測定の有用性に関する研究」

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から平成27年3月31日

実施責任者：天理よろづ相談所病院呼吸器内科 田口善夫

### (2) 研究の意義・目的について

鳥関連過敏性肺炎は、鳥の糞、羽毛などに存在する抗原を吸い込むことによって、肺にアレルギー反応を引き起こす病気です。時に診断が難しいことがあり、血液検査にて「特異抗体」を証明することで、診断の手がかりとなることがあります。この検査は今のところ当科のような特定の施設でしか行えず、全国的に普及しておりません。当科以外ではファディア社というメーカーで唯一検査が可能ですが、日常診療で使用されている検査ではありません。そこで、当科で過去に行った抗体検査をもとに、ファディア社で行う同検査結果と比較し、当科にて両者の詳細なデータの解析を行い、この検査が診断に役に立つ検査であることを証明します。

### (3) 研究の方法について

鳥関連過敏性肺炎の患者さん、および（それに対する比較として）その痰間質性肺炎の患者さんを対象とさせていただきます。以前の通常の診療で行われた血液検査で、血液が保存されているものを利用させていただきます。抗体検査の測定が可能なファディア社に測定を依頼します。データの解析を行い、抗体検査の精度や有用性を検討します。これまで以上に詳細な情報が得られることで、将来的に同検査が特定施設以外でも可能となり、多くの患者さんがこの検査を受けることができるようになることを目指します。

### (4) 予測される結果(利益・不利益)について

参加いただいた場合の利益・不利益はありません。

### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

### (6) 研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

### (7) 費用について

試料の提供は無償でお願いしておりますので、謝礼などはお渡ししていません。

## (8) 問い合わせ等の連絡先

天理よろづ相談所病院呼吸器内科 田口善夫

TEL 07436-63-5611